

教科横断型授業「理科」×「家庭」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(2番)「飢餓をゼロに」 (12番)「つくる責任 つかう責任」				
実社会での課題	現在、世界には食料不安や栄養不良に苦しむ人々がいるなかで、世界的な人口の増大に伴いさらなる食料不足が懸念されるとともに、食料生産に伴う環境への影響も問題となっている。このような背景から、食の持続可能性に対する国内外の関心が高まっており、私たち一人ひとりが環境に配慮した食生活を実践することが求められている。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	科学を学ぶことによって得られた知見を、社会現象の理解や自身の生活の向上に生かそうとする態度を養う。自身の生活の中から問題を見出して課題を設定したり、科学的な根拠に基づいて論理的に表現したりする力を養う。				
主題(教材)	カーボンフットプリント・ウォーターフットプリント・生産力ピラミッドの観点から、菜食について考え、自身の食生活を見直そう。				
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導 入	○ 環境省による資料 ¹⁾ を読む。資料において、「菜食」という選択肢が示されていることを確認する。 学習目標を設定する。	5	○ 生徒自身のニーズに合わせて学習目標を設定するよう促す。	○生徒用端末 ○Microsoft Teams (スライド配信) ○ワークシート
	展 開	1 食生活と地球環境との関連を考えるために、カーボンフットプリントやウォーターフットプリントのような環境指標、および食糧生産に伴う環境負荷について理解する。	10	○ 家庭科で学習済みの「地産地消」・「旬産旬消」・「フードマイレージ」・「LCA」等の諸概念、および理科で学習済みの「地球温暖化」・「富栄養化」・「生物濃縮」等の諸概念との関連を考えるように促す。	○生徒用端末 ○Microsoft Teams (スライド配信) ○ワークシート
	開 閉	2 生態系における生産力ピラミッドとエネルギー効率、物質収支について理解する。	20		
	整 理	3 サステナブルで健康な食生活の提案としての菜食について、感想や疑問などを共有する。	10	○ 自分自身の食生活を多角的な視点で見つめるよう促す。	
程 理	○ 本時の学びを振り返る。 ○ 授業の感想を入力する。	5	○ 学習目標を踏まえた振り返りを勧める。	○生徒用端末 ○Microsoft Forms ○ワークシート	
備 考	1) 環境省(2021)「サステナブルで健康な食生活の提案」				